

「湘南ゴールド」をえさに 高校生がフルーツ魚を開発 湘南ゴールドヒラメお披露目会

神奈川県立海洋科学高等学校の生徒が県の名産であるかんきつ「湘南ゴールド」をえさに使用したフルーツ魚「湘南ゴールドヒラメ」を開発した。同校水産食品科のクラブ活動の一環で生育を行い、JA全農かながわは湘南ゴールドの提供に協力した。

同校では生物環境科がヒラメの種苗生産に取り組んでいるが、その過程で右ヒラメや白化個体といった形態異常のために放流できない個体が発生する。それらの活用方法としてフルーツ魚の作成に生徒が着目。地元の特産品を使用し付加価値を高めたいという想いから湘南ゴールドを原料に作成することを考案した。

JA全農かながわは県経由で依頼を受け、加工用湘南ゴールド約10kgを無償で提供した。提供した湘南ゴールドは皮と果汁部分に分けられ、サバのミンチとパン粉と混ぜ合わせてえさが作られた。ヒラメは5月から



飼育が始まり、10月中旬に全長約30cmにまで成長した。

11月17日に関係者向けに開かれたお披露目会では、風味を生かした刺身、レトルトパウチで湯煎した切り身、身の入った茶碗蒸し、ムニエルの試食を実施。特に刺身のえんがわ部分に湘南ゴールドの爽やかな香りが感じられた。

同校では生食での販売はできないというハードルがあるものの、加工品での商品化を検討している。生育に関わった同校1年の飯田紗蘭さんは「湘南ゴールドの香りを感じられるような調理法を考えるのは大変だったが、お披露目会ができたのはとても良い経験になった」と話した。



【担当職員よりひとこと】

高校生の見事な包丁捌きと湘南ゴールドの香りを感じられるお刺身に驚愕するとともに、生果販売以外の使い方の現場に立ち会うことができ大いに刺激を受けました。湘南ゴールドヒラメは本会では珍しい農業と漁業のコラボレーションとなりました。今後も両業界の発展の一端を担っていただければと思います。

(農産部 中央ベジフルセンター 吉岡奈美さん)

施設部がテナント推進研修会を実施

業界動向や出店動向を分析 総合コンサルティング機能向上へ

施設部は10月31日、JAグループ神奈川ビル2階講堂において「令和5年度テナント推進研修会」を開催した。テナント事業における総合コンサルティング機能の向上を目的に開催され、JA・JA子会社職員を中心に92人が参加した。

研修は二部制で、第一部で同部顧問弁護士を務める草薙一郎氏による法務研修、第二部でテナント業者6社による業界動向、事業概要ならびに県内での出店動向等の説明があった。

「農業資材・建築資材の高騰や長引く円安は組合員の

経営に影響を及ぼし、また不透明・不安定な社会情勢をはじめ、資産管理事業を取り巻く環境は変化を続けている。本研修会を通して土地活用メニューの幅を広げ、参加者の日々の推進・提案につながればと期待している。ひいてはさらなるJAグループ資産管理事業の『総合事業としての日常化』、ならびに組合員への相談機能を強化していきたい」と事務局は話す。

同部では今後も地域性を考慮した事例研修や、テナント業者との交流の機会を設けるなど、事業推進のサポートを進めていく。

農機販売実績の優秀者・センターを表彰 JA農機セールスコンクール

農機・自動車課は11月22日、「JA農機セールスコンクール表彰式」をJA全農かながわ田村事業所内で開催した。同コンクールはJA販売担当者の士気を高め、農機の販売促進を図ることを目的としており、夏の特別推進期間（令和5年6月1日～9月30日）において、JAグループ神奈川推奨型および共同購入トラクター（中型）の販売実績が特に優秀だった農機センターおよび担当者を表彰した。

優秀賞を受賞した東部農機センターみなみセンターの新川祐二さんは「またこのような場に立てるように、今後も周りの職員と協力していきたい」とコメントを寄せた。

同日は「農機担当者会議」「農機重点銘柄研修会」も開催。冬の農機特別推進期間（令和5年12月1日～令和6年2月10日）に向けて、販売対策の確認や、5社のメーカー担当者による各種新製品の特徴・性能に関する製品説明が行われた。



(左から) 岸山農産部長、優秀賞受賞者の新川さん、市川さん、石渡さん ※他の受賞者は所用のため欠席



(左から) 新人賞受賞者の矢澤さん、秋元さん、有田さん

JA農機セールスコンクール表彰結果一覧（敬称略）

1.優秀賞

JA農機センター名	氏名
東部農機センター みなみセンター	新川 祐二
東部農機センター みなみセンター	市川 丈二
湘南農協 平塚農機センター	石渡 修
三浦市農協 南下浦農機センター	蛭田 浩昭
よこすか葉山農協 農機センター	鈴木 康平

2.新人賞

JA農機センター名	氏名
相模原市農協 農機センター	秋元 勇輝
東部農機センター きたセンター	矢澤 和彦
東部農機センター きたセンター	有田 直広

3.農機センター賞A

JA農機センター名	内容
三浦市農協 南下浦農機センター	伸率1位
さがみ農協 茅ヶ崎農機センター	伸率2位
相模原市農協 農機センター	ポイント上位

4.農機センター賞B

JA農機センター名	内容
さがみ農協 藤沢南農機センター	伸率1位
東部農機センター みなみセンター	伸率2位
東部農機センター きたセンター	ポイント上位

キャンペーンで国産農畜産物を応援

(株)ジェイエーアメニティーハウスより

株式会社ジェイエーアメニティーハウスは、農産物を食べて応援する「国産農畜産物応援プロジェクト」の一環として、12月1日から3月20日までプレゼントキャンペーンを実施しています。

(1) 食を通じて暮らしを豊かにキャンペーン

JAグループ神奈川の賃貸仲介窓口で当社管理物件をお申し込みされ、ご成約いただいた方の中から、抽選で15名様に「JAタウンギフトカード5,000円分とPRINCE SSホットプレートテーブルグリルピュア」をプレゼントいたします。



(2) JA商品詰め合わせプレゼントキャンペーン

当社管理物件をお申し込みされ、ご成約いただいた方の中から、抽選で250名様に「JA商品詰め合わせBOX」をプレゼントいたします。応募方法の詳細は、JAホームネット特設ページをご覧ください。

